

環境悪化を少なく、被災者の生活を救済する必要がある。市長の見解は。

市長 しっかり検討していきたい。



田中克彦 議員

防災井戸の設置について

議員 公的な場所への防災井戸設置をどのように考えているのか。

総務部長 大規模災害時における生活用水の確保の必要性については認識している。実際の設置となると、既存の浄水施設や防火水槽の代替利用、民間井戸の活用、設置箇所の地理的条件等に加え、財政面も考慮した上で慎重な検討が必要ではないかと感じている。

議員 熊本震災の場合、直接死が50人、関連死は200人超である。関連

死の原因には、生活用水の不足やトイレ問題が含まれている。災害後の関連死が無い状況を作る必要がある。また、井戸の整備には国の補助金があると聞いているが。

地域クラブサポートセンターの役割と今後の支援体制について

議員 「南島原市地域クラブサポートセンター」が設立されるが、当センターの設置目的は。

教育長 子供も大人も夢中になってスポーツや文化活動に親しみ、生涯にわたって豊かなスポーツ、文化ライフを送れる生涯学習のきっかけを作ることが目的である。

議員 サポートセンターの中長期的なビジョンは。

きることからスタートして、徐々に役割、機能を拡大していきたいと考えている。ビジョンとしては、大きく6つの取組を予定している。1、地域スポーツ・文化クラブの運営及び活動支援。2、南島原市中体連の運営支援。3、競技等の普及推進活動支援。4、南島原市地域学校協働活動支援。5、各小中学校の不登校支援。6、その他目的を達成するために必要な活動に対する支援。以上の6項目である。

その他の質問

議員 「みんなで防犯プロジェクト」について



熊本県志志市防災井戸



質問の様子を動画で見よう

末統浩二 委員長
総務委員長報告(概要)
・議案1件を原案可決

【議案第34号】令和7年度南島原市一般会計補正予算(第2号)

総務部関係
質疑 物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金が定額減税調整給付金に充てられているが、給付金の対象は。また、交付金の充当は妥当か。

答弁 令和6年度実施の定額減税調整給付金は課税見込みで実施。課税額が確定したため、減額がしきれなかった方、青色・白色事業専従者等に対し、精算給付を実施。給付金の財源は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金として配分される。

質疑 今年度分として、国から限度額が示された物価高騰対策分の使途は。

答弁 令和5年度の推奨

質疑 通勤手当は本人申出のとおりか。確認は。

答弁 本人申出により支給。年度初めに本人確認をし、変更時は遡及精算している。届出時人事課でも確認。

質疑 パトロール員の雇用は公募か。経験者の有利性や公募条件は。

答弁 会計年度職員のため年度末が任用期限。人事評価の結果で継続任用可能だが5年ごとに公募。選考に優位性は無い、年齢等の制限も無い。

質疑 出産・育児休暇がある場合は、すべて代替職員を採用するのか。

答弁 担当課の申出によ



委員会の様子(議場で開催)

議員 アーカイブズ事業の下水道工事は。

答弁 浄化槽老朽化のため下水道への接続を実施。校舎の既設管の勾配不足のため管路工事を追加。

地域振興部関係
質疑 商工観光課長より、1,680万円の増額は、(株)エバーグリーンが提起している4件の返還訴訟(8,400万円)の財産保全のための仮差押えに伴う供託金を予算計上した。との説明を受けた。

答弁 宮原の集団和解に関しては、話がまとまり、全員の印鑑をもらって、6月18日に法務局へオンライン申請が完了している。

質疑 宮原道路の件は、まだ決着がつかっていないのか。

答弁 年度内に道路の分筆や補償も終わり、通行が可能になるのか。

人口減少対策について、今後の展望は

市長 南島原市デジタル田園都市国家構想総合戦略に基づき各種施策を進めていく。



中村哲康 議員

人口減少対策について

議員 令和5年度、出生数168名、亡くなった人数821名、転出(外国人含)1,163名。令和6年度、出生数158名、亡くなった人870名、転出(外国人含)1,097名と、かなりの数の人口が減っているが、どのようにお考えか。

市長 令和2年の国勢調査における本市の人口は4万2,330人で、平成27年と比較した減少率は県内で4番目に大きい状況である。さらに国立社会保障人口問題研究所によ

る推計では、2050年(令和32年)に約2万1千人になることが予想されている。このような状況を踏まえ、本市の人口減少対策については第II期南島原市後期基本計画と一体化した南島原市デジタル田園都市国家構想総合戦略に基づき、各種施策を進めていくこととしており、将来の人口を2060年(令和42年)に2万5千人とする目標を実現するため、出産・子育て施策、企業誘致、定住移住施策などを重点的に取り組み、転出抑制と転入増加に繋げていかなければと考えている。

議員 企業誘致については、どのようにしているのか。

地域振興部長 企業誘致については地域経済の活性化のほか、雇用の場の創出など、人口減少対策として、本市にとって大変重要な意義を持つものと考えている。具体的にはこれから堂崎港埋立地への積極的な企業誘致に市を挙げて取り組み、雇用

黒石英雄 委員長
農林水産・建設委員長報告(概要)
・議案1件を原案可決

【議案第34号】令和7年度南島原市一般会計補正予算(第2号)

建設部関係
質疑 緊急自然災害防止対策事業が急傾斜地崩壊対策事業へ変更となった経緯と理由は。

答弁 落石等の部分対策で想定していたが、土質の調査・確認等を実施した結果、工法の変更が必要と判断したため。

質疑 宮原道路の件は、まだ決着がつかっていないのか。

答弁 宮原の集団和解に関しては、話がまとまり、全員の印鑑をもらって、6月18日に法務局へオンライン申請が完了している。

質疑 年度内に道路の分筆や補償も終わり、通行が可能になるのか。

農業振興について

議員 農地を買えなかったと相談にいられた方がいたが、条件に該当しない点があったと思うが、市民の立場になって相談に乗ってもらえないか。

農業委員会事務局長 より分かりやすく丁寧な説明を心がけて対応していく。

地域振興について

議員 イベントに関して意欲ある団体等にも目を向け、上手な分配で予算を組めないか。

地域振興部長 新たな取組や体制づくりも含めて、いろんな方の意見を聞きながら前に進めていきたいと思っています。



質問の様子を動画で見よう

質疑 有機農業推進伴走型補助金をオーガニック協議会へ出しているが、今年度のオーガニック給食の回数は。

答弁 当初、計5回を計画していたが、現時点で6月に1回実施し、次を7月に行う。それから有機チャレンジ米の提供を11月以降に実施する予定である。



委員会の様子